

地域貢献 信念貫いて

春の褒章 県内の受章者横顔

政府は28日付で2020年春の褒章受章者を発表した。愛媛県関係は8人(うち県外在住は1人)が福祉などの分野での功労が認められた。県内在住者3人の軌跡や今後の抱負を紹介する。(6面参照)

藍綬褒章

行政相談委員

桜田 矩雄さん(80)

宇和島市川内

住民の行政に対する苦情や不満などに耳を傾け、解決への手助けを行う行政相談委員。相談を受け、



「行政相談委員としての経験を高く評価していただけたのは生涯の大きな喜び」と話す桜田矩雄さん

関係する機関に改善の検討を依頼し回答を伝える。住民と行政の「懸け橋」を16年間続けてきた。受章

困り事解決 相談者目線で

苦情や内容を理解するよう努め

(井上華菜子)

藍綬褒章

教諭師

越智 憲明さん(64)

松山市三番町7丁目

「人は生きることをお願いされて生まれた存在。受刑者の方にも気持ちしてもらいたい」との信念を持ち、



20年間教諭師として受刑者に人の道を説き続けた越智憲明さん

教諭師(きょうかいし)として松山刑務所(東温市)に20年通い続けた。

人の道根気強く説き続け

に届くよう努めてきた。

(宇和上翼)

「失敗の連続者」を前に講話する。「失敗の連続者」を前に講話する。「失敗の連続者」を前に講話する。

藍綬褒章

社会福祉法人愛美会理事長

石川 繁一さん(80)

四国中央市上分町

1988年に社会福祉法人愛美会、2011年に医療法人健康会を設立。両会の理事長を務めるほ



「グループが地域に誇れる存在でありたい」と語る石川繁一さん

か、在宅医療を担う石川クリニックの院長としても診療を続ける。四国中央市を中心に地域のみな

医療と介護 安心の社会に

が老後を安心して送れるよう、医療と介護が連携した事業に力を注ぐ。

89年以降は特別養護老人ホームや認知症専門のグループホームなどを開設。現在は医療、介護、リハビリなど計33施設を展開し、幅広いニーズに対応する。

(菅亮輔)

愛媛県関係受章者

【県内在住者】

◇藍綬褒章

朝倉 須磨(あさくら・すま) 77 松山市市坪南3の16の29。保護司。更生保護功績。

石川 繁一(いしかわ・けいいち) 80 四国中央市上分町620の1。愛美会理事長。社会福祉功績。

越智 憲明(おち・けんめい) 64 松山市三番町7の1の1。教諭師。矯正教育功績。

佐伯 正夫(さいき・まさお) 76 東温市見奈良355の5。更生保護法人理事長。更生保護功績。

桜田 矩雄(さくらだ・つねお) 80 宇和島市川内甲382の3。行政相談委員。行政相談功績。

土屋 栄蔵(つちや・えいがん) 65 松山市御幸1の442。教諭師。矯正教育功績。

宮原 武志(みやはら・たけし) 77 西条市氷見乙1119。保護司。更生保護功績。

【県外在住者】

◇黄綬褒章

伊藤 龍典(いとう・たつり) 67 東京都日野市日野864。能美防災社長。業務精励(消防機器製造販売)。